

個人質問通告表

令和6年第1回始良市議会定例会（3月6日）

10. 竹下 日出志	1. 「孤独・孤立」対策について	<p>現代社会では、人と人が寄り添い、支え合うことが難しくなっている。孤独・孤立の状態にある人は、悩みがあっても言い出せずに追い詰められるケースが少なくない。地域内で生きづらさを抱える人とつながり“SOS”をつかんで支援に結びつける体制づくりが求められている。</p> <p>(1) 本年4月には、孤独・孤立対策推進法が施行される。孤独や孤立を「社会全体の課題」と位置付け、自治体に対し「対策地域協議会」の設置を定めている。本市ではどのように取り組む考えか。</p> <p>(2) 鳥取市では、生きづらさを抱える人の“SOS”を地域でキャッチし、行政の支援への“橋渡し役”を担う市民ボランティア「つながりサポーター」を市独自で養成している。本市でも取り組む考えはないか。</p>	市 長 教育長
	2. ベンチのあるまちづくりについて	<p>(1) ベンチの設置は、高齢者世代では、外出支援や自立支援にもつながり、子育て世代では、子どもの外遊びや交流の場となる。各世代からのニーズにこたえるため、ベンチのあるまちづくりを考えないか。</p> <p>(2) コミュニティを生む「まちのデザイン」として、公園・歩道・まちなかの商店街・バス停・散策コースなどに、ベンチを設置する考えはないか。</p>	市 長 教育長
	3. 市民窓口のサービスについて	<p>(1) 家族が亡くなった人が行う手続きの負担を軽減するため、新庁舎1階の市民課窓口「おくやみコーナー」を設置する考えはないか。</p>	市 長 教育長

		(2) 書かない窓口は、必要な手続きを職員が聞き取り、届出や申請書を自動出力する。市民への周知をどのように考えるか。	
11. 宇都 陽一郎	1. 過疎対策について	<p>鹿児島県内で唯一人口が増加している始良市であるが、10年以内には減少に転じると予想されている。また、日本の人口も1967年に1億人を超え、2008年に1億2808万人をピークに減少に転じている。2024年1月時点で1億2409万人、25年後には1億人を割ると予想されている。鹿児島県も現在154万人ほどで前年より1万5千人程度減少している。今や人口減少は地方の問題ではなく、全国的な問題でもある。本市としては、人口減少に転じるのを少しでも遅らす対策も講じながら、更に人口減少後の対策も検討しておくこともこの時期に市政を預かっている執行部と議会に課せられた使命と考える。そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 昭和35年位から高度経済成長期に集団就職が始まり、人口が地方から都市部へと流入するようになった。始良市の前身である旧3町においても同じような現象があったと考えられる。そこで、旧町ごとにピーク時からこれまでの人口の推移を示せ。</p> <p>(2) 昭和45年以来、地域格差の是正を目的とし、4次にわたり「過疎法」が制定されている。これは、雇用機会の拡充や人材育成、住民福祉の向上など地域の持続的な発展を図るものである。旧町時代を含め、これまで「過疎法」を利用した特別措置があったのか問う。</p>	市長

	<p>2. 可燃ごみについてのこれからの対応</p>	<p>(3) 先程述べた「過疎法」だが、当初は、地方から都市への人口の流入を防ぐことが目的でもあった。そして、10年をひとつの区切りとして、1次から4次まで変移してきた。この4次の10年間で本市はどのような過疎対策を行ってきたのか問う。</p> <p>(4) 令和3年4月に過疎法は5次へと変移した。日本だけでなく世界中を巻き込んだコロナ禍では、生活スタイルや働き方、大きくは生き方まで大きな変化をもたらした。その選択肢の一つとして「地方への移住」が増えた。今後、過疎への考え方も変わるのではないかと思う。</p> <p>そこで、今後市として「過疎」へどのように取り組もうと考えているのか問う。</p> <p>令和6年4月1日からゴミ収集用指定袋の価格が上がる。また、あいら清掃センターは平成21年3月から供用開始し、平均的耐用年数15年を迎える。それに伴う長寿命化計画が検討されている。</p> <p>そこで、可燃ごみへのこれからの市の考えを問う。</p> <p>(1) 今回のゴミ収集用指定袋の価格変更の経緯とどのように算定したのか問う。</p> <p>(2) あいら清掃センターの改修工事では、2つある焼却炉を交互に改修するため2年ほど伊佐市の焼却場まで一部のゴミ収集車が走ることになると聞いている。この時、台数や人員、ガソリン代など運搬業者の経費が増加するのではないかと考えるが、どのような対応を検討しているのか問う。</p>	<p>市長</p>
--	----------------------------	---	-----------

<p>12. 笹峯 桜</p>	<p>1. 災害時のペットの同行・同伴避難について</p>	<p>年始の能登半島地震や羽田空港での事故などは、コロナもやっと落ち着き、お正月のお祝いムードの中にあった国民を恐怖と深い悲しみの淵に突き落とした。本市も台風、桜島の爆発など今後起こり得る災害に、万全の備えが必要であることを強く実感した。また、羽田空港での事故の際、航空機内の貨物室に預けられていたペットが犠牲になり、インターネット等で物議を醸した。わが国では、4人に1人が何らかのペットを飼育しているというデータもあり、ペット避難の需要は高い。</p> <p>そこで、本市におけるペット避難について以下を問う。</p> <p>(1) 出水市に続き、昨年、阿久根市と県出水地区獣医師会との間で災害時の動物救護活動についての協定が結ばれた。令和5年3月定例会において、本市もこのような協定を県獣医師会と結ぶことができないか質問したが、その後の進捗を問う。</p> <p>(2) 本市におけるペットの犬の登録件数を問う。</p> <p>(3) 令和5年第1回定例会にて、ペットの同行・同伴避難が可能な避難所の新たな指定や、民間との協定について質問した。その後、加治木福祉センターが新たにペットの同行避難が可能な避難所として指定されたが、加治木地区の中山間地域や始良地区、蒲生地区のエリアでペットの同行・同伴避難が可能な施設を指定する予定はないか。</p> <p>(4) 本市のペットの同行・同伴避難では、大型犬は受入れ不可となっているが、広く市民に認知されていると感じられない。最終的には大型犬も避難可能な避難所を設ける必要があるが、ま</p>	<p>市長 教育長</p>
-----------------	-------------------------------	--	-------------------

	<p>2. 台湾有事など外国からの武力攻撃に対する本市の備えと加治木港の整備について</p>	<p>ずは広報に力を入れる必要もあると考えるが、市の意向を問う。</p> <p>本年1月の台湾総統選にて与党民進党が勝利を収めたこともあり、中国と台湾の武力衝突が起こる可能性が否定できない状況になっている。実際、本年1月下旬には、外国からの武力攻撃を前提にした、屋久島から県本土への避難手順などを現地で確認する実動訓練が行われた。また、国は安全保障上必要性が高い空港や港湾を「特定重要拠点（仮称）」に指定し、整備に力を入れることで防衛力の強化を目指すことが昨年新聞等で報道されたが、その候補地に鹿児島空港が入っていた。仮に台湾有事等が発生した場合、本市へ避難者が出ることも十分に考えられる。</p> <p>そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 武力衝突が起きた場合、避難者の受入れ等の本市の動きについて、話し合い等が行われているのか、何かしらの計画があるのか問う。</p> <p>(2) 第2次世界大戦後には加治木港が引上げ者を迎える港として指定を受けた。また、平成5年の8・6水害で加治木港と鹿児島港を結ぶ臨時の旅客船が運航された。そこで、有事の際に加治木港が活用されてきた歴史と、日頃から更なる有効活用を望む市民の声も大きいことから、今後に備える意味でも、国・県に協力を仰ぎ、加治木港を整備できないか問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
	<p>3. 本庁舎周辺の駐車場について</p>	<p>本年4月の本庁舎開庁に伴い、組織の再編が行われ、本庁舎に機能が集約される。教育・農業関係などの各委員会も本庁舎で行われることになるため、駐車場の確保が課題となる。また、令和</p>	<p>市長 教育長</p>

		<p>5年第4回定例会で、本庁舎2号館前の駐車場について質問したが、質問後も同駐車場を平日夜間・土日解放してほしいというお声を市民からいただいた。</p> <p>そこで、以下を問う。</p> <p>(1) 本庁舎開庁後は、新たにできる駐車場と2号館前の駐車場を合わせ、何台分の駐車スペースを確保する予定か。</p> <p>(2) 委員会等がある場合は駐車場の混雑が考えられるが、どのような対策を取るのか。</p> <p>(3) 本庁舎2号館前の駐車場が平日夜間・休日に閉鎖されることになった大きな理由の一つが、平日夜間の迷惑行為であった。しかし、休日の日中に時間を決めて解放をする分には、周辺に悪影響を与える可能性は低いのではないかと考える。休日の日中に解放をすることができないか問う。</p> <p>(4) 平日夜間の迷惑行為は、駐車場の有料化や管理者の配置によって解決できるものとする。バーやフラップの設置によって駐車可能な台数が減ってしまうため、ハード面を整備するのが難しいのであれば、現状のまま、専門業者、地域のコミュニティ協議会や商工会などの第三者に駐車場の管理を委託することはできないか。</p>	
13. 峯下 洋	1. 地震等災害が発生時の市民の避難計画について	<p>正月早々能登半島地震があり東日本大震災を思い出した。正月ということもあり初動が大きく遅れた。72時間が生存の分岐点ともいわれているが、自衛隊も少数で家族にとっては、何もできずただ祈るだけと泣き崩れた人も多くいた。</p> <p>万一この様な災害が始良市に起こった</p>	市長 教育長

	<p>2. 人材不足の対応策を問う。</p>	<p>場合、スムーズに市民を安全な場所に避難させる必要がある。</p> <p>「住みたい街ランキング」で4年連続1位継続中の本市は人口も県内で唯一増加している。</p> <p>この事はとても喜ばしい事だが、一方安全に避難させる事はいささか大変なことになる想定される。起こる時間帯によっても全く違う。昼間は若者や学生は通勤・通学で始良市内にはいない可能性がある。このことを考慮して避難計画を作成することは至難の業と言える。</p> <p>そこで以下を問う。</p> <p>(1) 本市の時間毎などの人口動態の把握は出来ているか問う。</p> <p>(2) 罹災証明書ができないと片付けたくても思うように片付けられないと聞くが、円滑に証明書を発行できる手立てはあるのか。</p> <p>(3) 避難所におけるトイレや入浴への対策はどのように考えているのか。</p> <p>(4) 電気・ガス・道路・水道・下水道などインフラの迅速な復旧には、がれき等の置き場や処分が求められるが、本市ではどのように想定しているか問う。</p> <p>(1) 「少子高齢化に伴い」保育園・幼稚園・介護施設など、保育士や介護職などのなり手不足が取りざたされるが、市としてはどのように対処する考えか問う。</p> <p>(2) 「バス・タクシー・トラック」などの運転手不足も大きな問題である。このことをどのように捉え対処する考えか問う。</p> <p>(3) 高齢化ばかりが要因ではないが、PTA・子ども会など地域行事等への参加者や協力者の人材不足により、</p>	<p>市長 教育長</p>
--	------------------------	--	-------------------

		校区・自治会などの運営に影響を及ぼしていると考え、市として何か施策はあるか問う。	
--	--	--	--